

# 健康福祉を取り巻く社会情勢の現状・展望

## 1. 高齢化の進行

### ◆高齢者の増加(平成26年→平成37年)

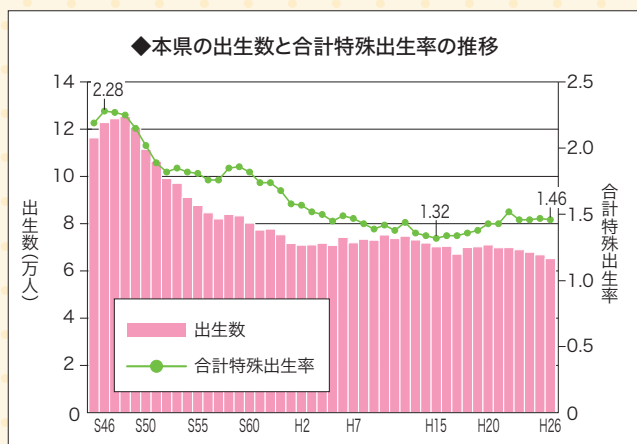
- ・65歳以上の高齢者 171万人→194万人(1.13倍)
- ・特に75歳以上の高齢者 77万人→117万人(1.52倍)
- ・高齢化率 23.2%→26.4%(4人に1人以上が高齢者)

### ◆認知症高齢者等の増加(平成24年→平成37年)

- ・認知症高齢者 23万7千人→36万9千人(1.56倍)
- ・全がんの5年相対生存率57%(全国)

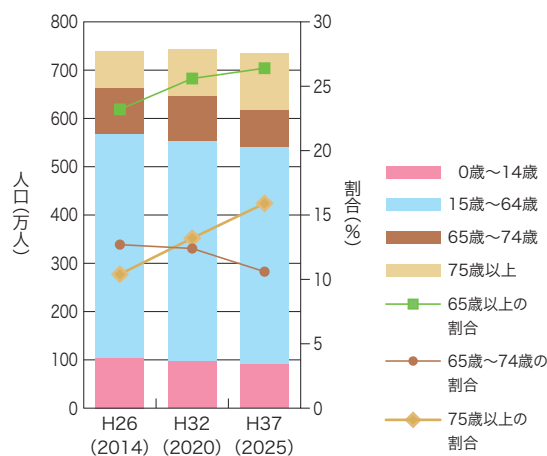
### ◆障害のある人の高齢化と重度化の進行

- ・身体障害のある人の約7割が65歳以上の高齢者
- ・重度の障害のある人の割合の増加  
(身体障害、精神障害)



資料 「愛知県衛生年報」(愛知県)、「人口動態統計」(厚生労働省)、  
「都道府県別人口の出生力に関する主要目標 昭和45年～60年」(厚生労働省人口問題研究所)

### ◆本県人口(年齢区分別)の将来推計



資料 H26:「あいちの人口(平成26年10月1日現在)」(愛知県)、  
H32、H37:「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」  
(国立社会保障・人口問題研究所)

## 2. 人口減少社会の到来

### ◆少子化の進行

- ・平成26年の合計特殊出生率1.46  
(人口の安定的な維持に必要とされる率2.07)

### ◆本県の人口推計

- ・平成32年頃をピークに減少見込  
(愛知県人口ビジョン まち・ひと・しごと創生総合戦略  
(平成27年10月)推計)

## 3. 社会環境の変化

### ◆家庭の変化

- ・世帯の小規模化、特に高齢者の単身世帯の増加

### ◆地域社会の変化

- ・人間関係の希薄化、コミュニティ機能の低下

### ◆健康福祉ニーズの多様化・複雑化

- ・働き方の多様化や介護を理由とする離職があり、  
ニーズの多様化・複雑化

### ◆健康福祉人材の不足

- ・医療従事者の慢性的不足・偏在
- ・介護人材は平成37年に約2万4千人不足見込(国の推計)

### ◆先進的な技術の進展

- ・健康福祉分野でのICTやロボットの活用・導入 ※ICT:情報通信技術

### ◆災害リスクの増大

- ・南海トラフを震源とするマグニチュード8以上の地震が今後30年以内に70%程度の確率で発生

